

◆採血の待ち時間

◆検体検査の報告に要した時間

AGMC-QI21009

〈検査部〉

1. はじめに

検体検査の結果が報告されるまでの時間は、診断や治療に直結する診療支援の指標となっています。診察前検査に要する時間を確認するために、採血受付から検査結果を報告するまでに要した時間（Turn Around Time : TAT）の調査を行いました。

2. 外来採血の運用について

◆ 診察まで検査

診察日の7日前までに採血を行う。診察当日には、検査結果が揃った状態で診察を受ける。

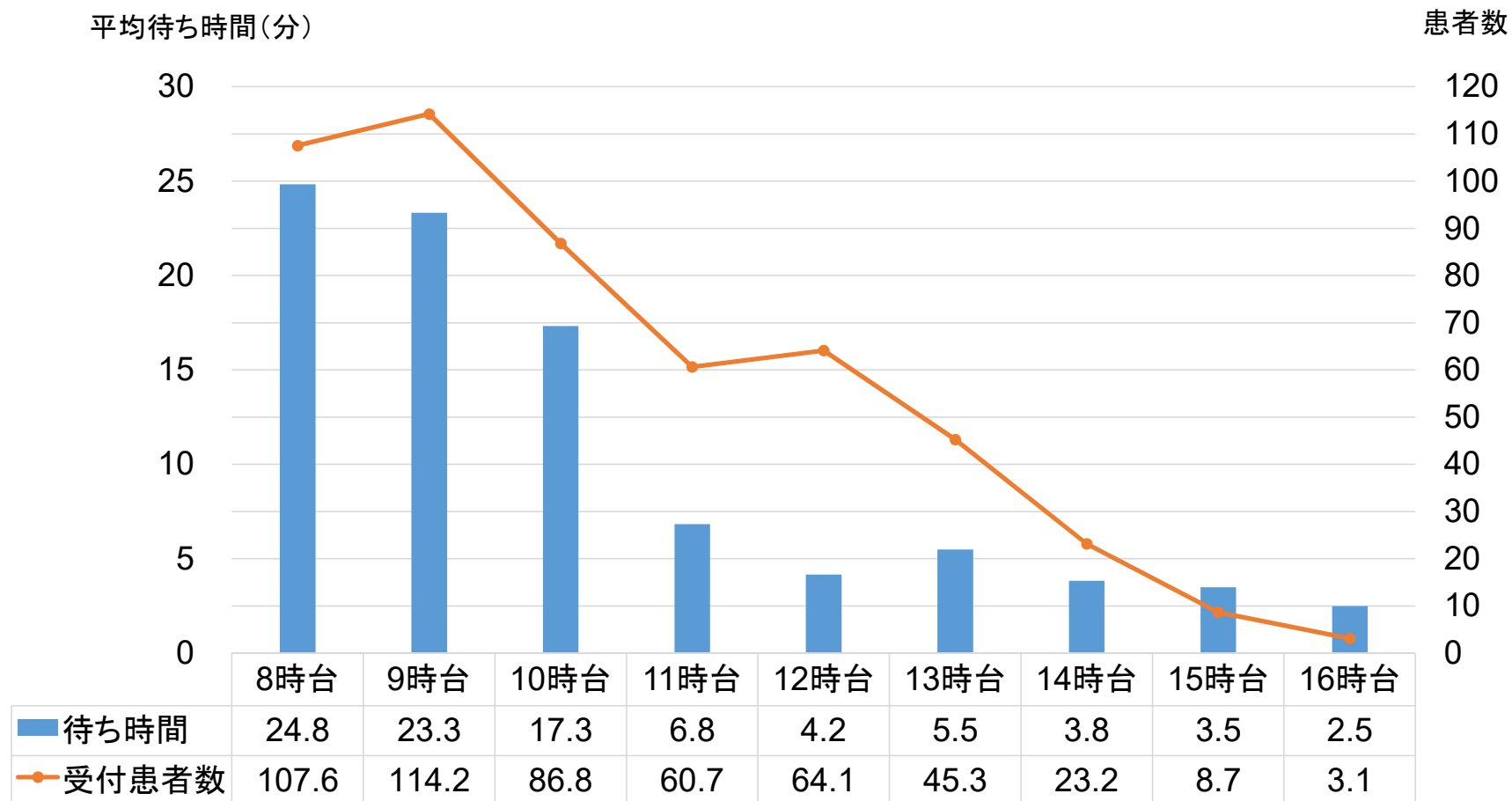
◆ 診察前検査

診察日に採血を行う。診察予約時間前に採血し、検査結果が揃うのを待って診察を受ける

◆ 日付指定の検査

指定された日に採血を行う。

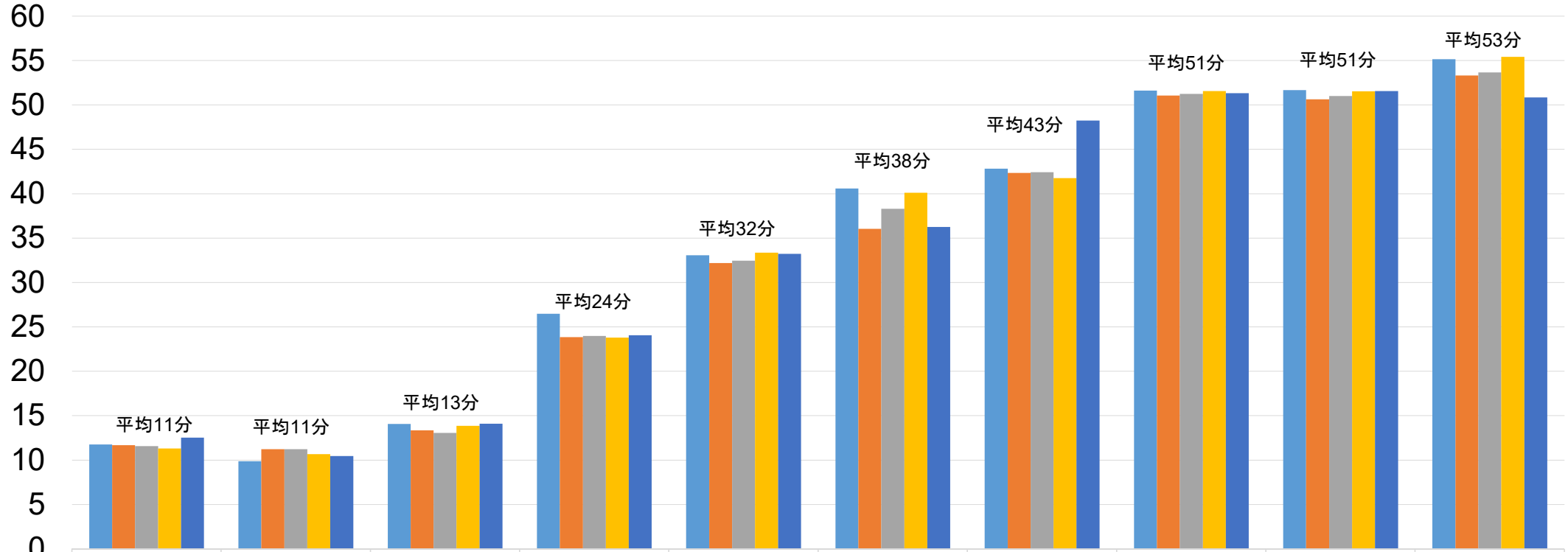
採血待ち時間と受付患者数の推移(2020年10月～2021年3月)



外来採血受付は 7時30分から開始し、採血開始の8時20分までには70人程度の患者さんが採血待ちをされています。患者さんが集中する午前中は、採血担当者を増やして待ち時間短縮に努めています。

検体検査の報告に要した平均時間の推移

報告時間(分)



	血算	尿定性	HbA1c	血液凝固	生化学	血中薬物	血沈	甲状腺ホルモン	腫瘍マーカー	感染症
■ 2016年	11	9	14	26	33	40	42	51	51	55
■ 2017年	11	11	13	23	32	36	42	51	50	53
■ 2018年	11	11	13	24	32	38	42	51	51	53
■ 2019年	11	10	13	23	33	40	41	51	51	55
■ 2020年	12	10	14	24	33	36	48	51	51	50

まとめ

- 患者様が集中する午前中は、採血担当者を増やして待ち時間の短縮に努めています。
- 血算、尿定性、血液凝固、生化学検査は、採血後10分から30分程度で結果が報告されています。但し、腫瘍マーカなど一部の検査結果は、報告に1時間近くかかる場合があります。
- 検査部ではISO15189の要求事項に基づき、報告時間の監視を行っており、継続的な改善に取り組んでいます。